

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

総社市が、市内を流れる大溝川のホタル復活プロジェクトに取り組んでいます。記事を読み質問に答えましょう。

## 大溝川に再びホタルを

### 総社市が児童、住民と復活プロジェクト



### 幼虫放流や清掃 環境授業も

総社市は、同市宿を流れる大溝川のホタル復活プロジェクトに取り組んでいる。身近な河川を通じて環境を考えるきっかけにもらおうと計画。3月には小学生、住民と協力してホタルの幼虫を初めて放流した。（寺尾彰啓）

地元の平山自治会長 流域のあちこちにホの変化で減少。現在はの小池定行さん(71)にタルが生息していた 山手スポーツ広場近くよると、約60年前にはが、護岸工事など環境にある約50坪の区間に

わずかに飛ぶ程度という。

市環境課は2022年、川で捕獲したゲンジボタルの卵から幼虫を養殖。地元の手小(同市岡谷)5年生にホタルの一生や環境保護の大切さを伝える授業も実施してき

▲ 幼虫を放流する山手小児童ら

た。放流は同小児童らが参加し広場近くの生息域で行われた。代表の田中墨偉君(11)、山本葵衣さん(11)が「ホタルはきれいな川でないと生きれない。川を汚さないために、ごみを捨てたり、シャンプーを使い過ぎたりしません」とあいさつ。体長1〜2センチに育った幼虫約600匹と餌になるカワナナをバケツから水面に放した。今後は定期的に放流を行い、河川の草刈りや清掃も官民で連携して進める予定。

3月31日付山陽新聞、備中面

**Q1** 総社市は、どのような方法で大溝川のホタルを復活させようとしていますか。見出しの言葉を使い、三つ答えましょう。

**Q2** 記事には、川の流域でホタルが減少したのは、何が原因と書かれていますか。第2段落を読み答えましょう。

**Q3** 写真は、小学生らが幼虫を放流しているところです。どんな気持ちで放流しているかを想像して書きましょう。

過去の問題は  
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。